

認知症の人と環境研究所

「認知症の人と環境」を
多面的に研究します



所長 谷本 裕香子 (ライフデザイン学部 生活デザイン学科 講師)

日本は総人口に占める高齢者の割合が世界一位であり、認知症のある人の人口も多いにもかかわらず、英国のように多面的アプローチによる認知症のある人の環境全般について研究する機関は存在せず、十分な研究の蓄積もありません。本研究所は、認知症当事者を含めた外部連携メンバーとの協働により、「認知症の人と環境」を多面的なアプローチによって検討し、環境づくりの実践につなげ、その成果を社会に発信することを目指します。

研究キーワード

- 認知症 ● 環境 ● 環境づくり ● 研究所 ● デザイン ● 多職種連携 ● 地域 ● 建築
- 当事者 ● 医療 ● 福祉 ● 施設 ● 人間 ● 情報 ● インタラクション ● Dementia
- Environment ● Design

研究内容

- (研究活動) 学外研究費への応募やそれに伴うディスカッション
- (実践活動) 外部関連メンバーとも連携した、認知症の人と環境に関わる共同プロジェクトの実施
- (情報収集) 国内外の認知症の人と環境に関する情報収集とその整理、また社会への発信
- (広報活動) 公開研究会の実施



英国・認知症サービス開発センター内の視察の様子



認知症専門医との環境づくり協働実践プロジェクト



認知症の人とのスマホを使ったまち歩き

